

自覺と防護團の活躍 燈火管制先づ大成 防空演習第三夜を觀る

本務の燈火管制に入つた昨夜は、今次演習の眼目である「管
制下の防護團」第一夜にその成績を注視されてゐたが
支那海軍に刺戟された防護隊への關心と各防護團の活躍によつて
先づ全般的に成功の域に達したと云へよう。

正午、警報の第一報、防護團はサツサと
出動して、防護隊はサツサと出動して、防護隊はサツサと

本務の燈火管制第一夜の昨夜は、
防護隊が山内、市內をめぐり、
市內の暗黒の巻を捲き、光は何處
にも見當らない、ライトに照らし
カブリを付けた走ら自動車の
速度も至つてゆるやかに、
この暗い管制電光の下で、
は、ごも、ごも、ごも、ごも、
の「光」に完全に遮断され、
ラヂオエニエンスの放送、
警報の月夜に響き、それら
の音程が月光に明るく、
道に洒瀉、空、風、サツサ、
と間に煙をまき上げる

「光」全く遮断され
燈管下作業進む
視察の縣警本部賞讃

夜に入つた市内は、文字通り「暗黒の巻」を捲き、
市內の暗黒の巻を捲き、光は何處にも見當らない、
ライトに照らしカブリを付けた走ら自動車の速度も至つてゆるやかに、
この暗い管制電光の下で、は、ごも、ごも、ごも、ごも、
の「光」に完全に遮断され、ラヂオエニエンスの放送、
警報の月夜に響き、それらの音程が月光に明るく、
道に洒瀉、空、風、サツサ、と間に煙をまき上げる

頑敵に對してはた
肉弾に突撃あるのみ
四谷町中身 木村守江軍醫通信

十月初三日から自動火器でやられるゴツは一夜造りのものでは
日〇〇〇に、そのゴツの八一人宛がやつと歩けるが、
敵前上陸をなす文字に通過して、而して相田のゴツの中は、
九尺、高さ六尺位、車を曳き進んだらけになつたと云ふ、
いって悠々歩けるし、雨がふ、水が濁り、併して、
第一部隊に、水を濁らせ、加から一歩も出さず、
減、それ故〇〇砲で、必すやら、
日攻め、何の支障も無い。仕方が無いから土龍式、
飛行機の燃費もあまり増やさない、敵前本營に話しかけ、
感じない、云ふのだから、敵前本營に話しかけ、
ね、只、只、只、只、只、只、只、只、只、只、只、只、
兵隊は、兵隊は、兵隊は、兵隊は、兵隊は、兵隊は、兵隊は、
略、それに引替わりの我々のゴツに進入して、
右は、右は、右は、右は、右は、右は、右は、右は、右は、
假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、
目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、
中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、
女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、女、
出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、出、
新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、新、
右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、右、
假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、假、
目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、目、
中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、中、

古物商罷りならぬ
横田父子に營業禁止
比窪入山庶務主任快癒
古東中尉通信
鏡後憂
兄弟三人出征
加藤政英伍長村葬

演習愈よたげなほ
青柳司令官
廿一日來平

中陣を聴く
市見見聞記

防空第三夜を行く

出稼人の賣込み視察
新沼職業課長來平
右は同様に於ける多数の
同課社會事業主任補佐倉大
田田氏は十七日來都、同日
は入山、昨十八日は右河の
河原を視察、平職業紹介所
で地方に於ける産業状況を
視察の上歸郷した。

北川外科
木村外科醫院
木村病院
五十嵐産科

保健所近づく着工
地方民の健康相談
工賃は一と組十九位位で支那の兵隊と女學生が
妻人でも一日に三、四着
縫製が出来るといふか
ことには適宜のもの
平職業紹介所では既報の如く
出張取入道家族の一調査
として陸軍被服縫製を普及
とさせることとなつた。

市見見聞記

防空第三夜を行く

出稼人の賣込み視察

北川外科
木村外科醫院
木村病院
五十嵐産科

演習愈よたげなほ
青柳司令官
廿一日來平

中陣を聴く

防空第三夜を行く

出稼人の賣込み視察

北川外科
木村外科醫院
木村病院
五十嵐産科

井坂産科醫院

加藤政英伍長村葬
廿七日御殿後で執行
去る九月七日滿洲國金華堡に於て匪賊討伐中
の戦死を遂げた内務省小島出身陸軍歩兵
伍長加藤政英の英霊に對しては廿一日
後二時五分平塚市立第一小學校に於て、非
儀は来る二十七日午後一時、內務省御殿第一
小學校に於て執行、平市古賀治町
松田院に埋骨する。

松村醫院
安齋科醫院

大床石 總理髮店
燈火管制完備
改名山崎與三郎

酒 榮川
平市新川町
電話一六七番

加藤政英去る九月七日滿洲國金華堡に於て戦死
した。何卒倍舊の御愛顧を願ひ
いたします。
若松市
醸造元 宮森榮四郎
特約店 永山酒店
電話二〇七番